

# 「廃棄学校制服の有効活用による衣類ごみ減量化」の取り組み紹介

お下がりにもならない、廃棄するしかなかった学校制服を有効活用(アップサイクル)できないか? 京都に住む、学ぶ、働く人たちと共に考えてみました。

環境負荷軽減、環境教育、雇用創出のモデル事業の構築・検証を、「京都市ごみ減量推進会議 平成29年度市民からの提案によるごみ減量モデル事業助成金」を受けて、実施致しました。

## 【取り組み内容】

1. 京都市立京都御池中学校でリユースできずに廃棄される予定の学生服を回収。
2. 繊維リサイクル技術研究会でリサイクル品の原料となる反毛綿と不織布を委託加工。
3. 京都御池中学校で環境に関する特別講義を行い、生徒たちからリサイクル品のアイデアを募集。
4. リサイクル品の制作に適した福祉作業所で製品化。生徒たちのアイデアを実現。
5. 最終製品を、京都御池中学校のご協力頂いた7年生全員に寄贈し、アンケート調査/検証。
6. 京都市の制服採用学校に最終製品を寄贈し、本取り組みの紹介と啓発。

### 【環境に関する特別授業風景】



### 【障害者就労支援施設にて作成】



### 【生徒たちのアイデアから生まれた筆箱、研究会で作った防災頭巾になる座布団】



### 織りネームデザインコンペを開催

京都女子大学 家政学部の学生様がデザインした織りネームを採用しました。

### 繊維リサイクル技術研究会

繊維および繊維機械に携わる種々の分野の技術者、研究者が一同に集い、環境に優しい繊維産業の構築の一環として繊維系廃棄物と生分解性繊維の有効利用について議論し、繊維系廃棄物の減量化手法、有効利用法、リサイクルを考慮した繊維製品のあり方、リサイクルの技術的、社会的成立条件などについて議論する研究会